

ヒューマンコミュニケーション (Human Communication)

社会人としてのマナーを学ぶ (social communication)

(医 ((保)1年))

關戸啓子・教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

2単位 前期 金 7・8

【授業の目的】 将来の医療従事者として必要な人間力を高め、学生自らのコミュニケーション能力を向上させるため、本授業ではまず社会人としての基本的なマナーを学習することを目的とする。患者や同僚・他職者と良い人間関係がとれるようになる一助とする。

【授業の概要】 この授業では特に、基本的な社会人としてのマナーやコミュニケーション技法を基礎から教授する。授業方法は、参加型のワークを基本として、学生自らが望ましいマナーや態度、コミュニケーションについて検討し、最も望ましいと考えられる方法を導き出すという流れで行う。さらに、社会人としての医療従事者のマナーについては、基本的な知識について説明した上で、模擬体験できるようにロールプレイングを行う。

【キーワード】 社会人としてのマナー、コミュニケーション、人間関係、医療従事者

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】

1. 社会人として必要なマナーについて説明できる。
2. 社会人にふさわしいコミュニケーション方法について説明できる。
3. 患者と良い人間関係を築くために必要なマナーや態度の概要が説明できる。
4. 職場で良い人間関係を築くために必要なマナーや態度の概要が説明できる。

【授業の計画】

1. 導入、グループ分け、グループワークの進め方について
2. 「気持ちの良いあいさつをする」ためのグループワーク
3. 最も望ましい「気持ちの良いあいさつをする」方法の検討
4. 「教員へ報告の電話をする」ためのグループワーク
5. 「教員へ報告の電話をする」最も望ましい方法の検討
6. 「教員へ質問のメールを送信する」ためのグループワーク
7. 「教員へ質問のメールを送信する」最も望ましい方法の検討
8. 「懇親会のご案内」の手紙を作成するためのグループワーク
9. 「懇親会のご案内」の最も望ましい手紙の検討
10. コミュニケーションの体験:思いやりゲーム
11. 社会人としての医療従事者のマナー (基礎知識編):患者に対して

12. 社会人としての医療従事者のマナー (実践編):患者に対して

13. 社会人としての医療従事者のマナー (基礎知識編):職場において

14. 社会人としての医療従事者のマナー (実践編):職場において

15. 定期試験 (課題レポート)

16. 総括授業 (授業の評価とまとめ)

【教科書】 適宜プリントを配布する。

【参考書等】 村尾 誠, 江川隆子監訳:ヘルスケアのためのコミュニケーション, 廣川書店, 1999.

【成績評価の方法】 成績はグループワークへの参加姿勢 (20%), 授業への取り組み (20%), レポート (60%) によって総合的に評価する。

【再試験の有無】 ペーパーテストによる再試験を実施する。

【受講者へのメッセージ】 授業は基本的に学生参加型なので、積極的に参加して発言すること。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220807>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 關戸 (088-633-9035, sekido@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 毎週水・金18:00-19:00 保健学A棟1階看護学講座教員研究室(關戸))

Human Communication

social communication

(医((保)1年))

Keiko Sekido · PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES

2 units 前期 金 7・8

Target) 将来の医療従事者として必要な人間力を高め、学生自らのコミュニケーション能力を向上させるため、本授業ではまず社会人としての基本的なマナーを学習することを目的とする。患者や同僚・他職者と良い人間関係がとれるようになる一助とする。

Outline) この授業では特に、基本的な社会人としてのマナーやコミュニケーション技法を基礎から教授する。授業方法は、参加型のワークを基本として、学生自らが望ましいマナーや態度、コミュニケーションについて検討し、最も望ましいと考えられる方法を導き出すという流れで行う。さらに、社会人としての医療従事者のマナーについては、基本的な知識について説明した上で、模擬体験できるようにロールプレイングを行う。

Keyword) 社会人としてのマナー, *communication*, 人間関係, 医療従事者

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal)

1. 社会人として必要なマナーについて説明できる。
2. 社会人にふさわしいコミュニケーション方法について説明できる。
3. 患者と良い人間関係を築くために必要なマナーや態度の概要が説明できる。
4. 職場で良い人間関係を築くために必要なマナーや態度の概要が説明できる。

Schedule)

1. 導入, グループ分け, グループワークの進め方について
2. 「気持ちの良いあいさつをする」ためのグループワーク
3. 最も望ましい「気持ちの良いあいさつをする」方法の検討
4. 「教員へ報告の電話をする」ためのグループワーク
5. 「教員へ報告の電話をする」最も望ましい方法の検討
6. 「教員へ質問のメールを送信する」ためのグループワーク
7. 「教員へ質問のメールを送信する」最も望ましい方法の検討
8. 「懇親会のご案内」の手紙を作成するためのグループワーク
9. 「懇親会のご案内」の最も望ましい手紙の検討
10. コミュニケーションの体験:思いやりゲーム

11. 社会人としての医療従事者のマナー (基礎知識編):患者に対して

12. 社会人としての医療従事者のマナー (実践編):患者に対して

13. 社会人としての医療従事者のマナー (基礎知識編):職場において

14. 社会人としての医療従事者のマナー (実践編):職場において

15. 定期試験 (課題レポート)

16. 総括授業 (授業の評価とまとめ)

Textbook) 適宜プリントを配布する。

Reference) 村尾 誠, 江川隆子監訳:ヘルスケアのためのコミュニケーション, 廣川書店, 1999.

Evaluation Criteria) 成績はグループワークへの参加姿勢 (20%), 授業への取り組み (20%), レポート (60%) によって総合的に評価する。

Re-evaluation) ペーパーテストによる再試験を実施する。

Message) 授業は基本的に学生参加型なので, 積極的に参加して発言すること。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220807>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Sekido (+81-88-633-9035, sekido@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 毎週水・金18:00-19:00 保健学A棟1階看護学講座教員研究室(關戸))